

第1回安芸高田市学校給食検討会議の概要報告

開催場所：安芸高田市教育委員会

2階 会議室

開催日時：平成18年7月27日

午後1時30分～

1, 教育長の挨拶

2, 検討会議メンバーの紹介 (教育総務課長)

- ・14名の委員中1名が欠席

(別紙名簿参照)

3, 「安芸高田市学校給食検討会議設置要綱」の説明 (教育総務課長)

(別紙要綱参照)

4, 会長・副会長の選出

- ・会長 互選により、瀬尾 温子 鈴峯女子短期大学教授を選出
- ・副会長 会長の指名により、沖野 清治 教育次長を選出

5, 会 議

- ・会長就任の挨拶の後、会議に入る。
- ・会議については非公開とし、ある程度まとまった段階で公開する。

① 「学校給食を取り巻く現状と課題」について、庶務企画係長が説明。

② 現在の「学校給食」に関する意見を述べる。

[主な意見]

- ・給食未実施の中学校にも、学校給食があって欲しい。
- ・学校給食は、栄養面でも偏りが無い。

- ・ 自校式のほうがおいしくて、子どもの評判がよい。
- ・ 自校方式は、行事等の変更があっても小回りがきく。
- ・ 近頃は、家庭において欠食・偏食・個食の子どもが多い。親が、子どもが好きなものしか作らないので、嫌いなものは食べない傾向にある。
- ・ 中学校の場合、スケジュールが過密で、給食センターからの配送が仮に5分遅れると、午後の時間におおきな影響がでる。
- ・ 行政上、給食サービスの均一化が図られていないのは問題。
- ・ 行政改革・財政改革は、必要でないものをスクラップし、必要なものをビルトすることだ。給食を食べた世代としては、給食は必要と思う。栄養バランス、地産地消の点で優れている。但し、方法については一考を要す。
- ・ 調理員の努力で食中毒が起きていない。施設が老朽化していることも重要な課題だ。
- ・ 経費の面で自校方式を主張する時代ではない。

[まとめ]

- ・ なぜ、給食が必要なのか基本の論議が必要だ。
- ・ 学校給食にかかる他の市町の情報を集めて検討を深めたい。
- ・ 運営方式、調理方式、食育など論議する必要がある。

6, 次回の開催日を決めて閉会

今回は、8月21日 午後1時30分～ 教育委員会事務局2階会議室